

2004年9月以降の浅間山の火山活動経過

The progress of the volcanic activities at Asamayama after September 2004

気象庁地震火山部火山課・軽井沢測候所 加藤 幸司 [1]; 加藤 幸司[2]; 菅野 智之[3]

Kato Koji Volcanological Division, Seismological and Volcanological Department, Japan Meteorological Agency and Karuizawa Weather Station, Japan Meteorological Agency [1]; Koji Kato[2]; Tomoyuki Kanno[3]

[1] -; [2] 気象庁・火山課; [3] 気象庁・東京火山センター

[1] -; [2] JMA; [3] Volcanological Div., JMA

<http://www.jma.go.jp/>

浅間山では、2004年9月1日に21年ぶりの中爆発（ブルカノ式噴火）が発生した。その後、9月14日～18日には小噴火（灰噴火、後にストロンボリ式噴火）がほぼ連続的に発生し、9月23日、29日、11月14日にも再び中爆発が発生した。その後、ごく小規模な噴火が12月まで時折発生していたが、12月以降は噴火は発生していない（2005年2月現在）。しかし、引き続き地震回数は多い状態が継続し、火映現象も時折見られるなど、浅間山の火山活動は依然活発な状態にあり、今後も爆発的な噴火が発生する可能性はある。

気象庁は浅間山噴火活動開始に伴い、地震計および傾斜計をそれぞれ1点ずつ増設し、監視体制を強化した。

本発表では、2004年9月以降の浅間山の火山活動経過と、気象庁火山課及び軽井沢測候所が実施した火山観測結果の概要を紹介する。